

株式会社 ハートコーポレイション

Heart News letter

小学校「外国語活動」の評価の進め方について②

今回は「外国語活動」の「評価」について、設定された観点と趣旨を基に、実際のレッスンでは単元の内容に照らして評価が行えるように具体的な「基準」を設けていくのがポイントということ、また留意点としては、指導にあたり、どの観点においてもその趣旨に鑑み、スキルなどの定着を求めるものではないので評価すべきことは、こどもたちの「関心・意欲・態度」や「慣れ親しみ」「気づき」となることについて確認しました。今回は、英語ノート1のレッスン6「外来語を知ろう」を扱った場合の、具体的な評価方法（例）、記入方法（例）を見ていきたいと思っております（当社主催教職員研修よりポイントを抜粋）。



この単元では、こどもたちがさまざまな外来語を発見し、例えば「キャベツ」はそのまま言っても通じない、まず「キャベツ」は外来語であるという**気づき**があり、そして「Cabbage=kæ'bidʒ」と言わないと相手には通じないので、ALTを真似て発音するまでの**外国語への慣れ親しみ**といういろいろな学習活動があります。そして、それぞれの活動に対する評価をさまざまな評価材料を通してまとめ、最終的に通知表、指導要録に所見を記入することとなりますが、例えば先生がレッスンの中で一番重要と思うメインの学習活動（例：フルーツパフェを作る）を1つ設定し、評価観点と基準を決めておく方法もあります。

評価基準（例）英語ノート1 レッスン6「外来語を知ろう」

観点 = 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

評価基準 = 【オリジナル・フルーツ・パフェを積極的に尋ね相手の思いを理解し、欲しいフルーツについて答えたりして、行動しようとしている。】

そして評価補助シートや名簿等に◎（満足）、○（おおむね満足）と併せてメモ程度に一人ひとりの児童について「大きな声が出ていた。楽しそうに行動していた」等と記入しておきます。そして通知表・指導要録の所見には「英語で自分の欲しいものを伝え合う活動では、表情豊かで相手に解りやすい英語を使うことができた（例）」等と記入します。一人ひとりの児童について毎時間記録しておくことは先生にとって大変な負担ですが、児童の振り返りシートや他のポートフォリオを使用しながら、先生の行動観察と児童の自己評価と合わせて最終的に評価することが大変効果的です。ただし負担が大きい、毎時間の記録は不可という場合には、少なくとも児童の振り返りシートを蓄積させ、後追いで確認しながら、先生も時間を追って児童の取り組みの様子を確認しながら評価を行っていただくことをおすすめします。

株式会社ハートコーポレイション/ハート英会話スクール

〒310-0805 茨城県水戸市中央2-6-10

電話：029-226-8010 FAX：029-233-3455

代表取締役 若林立美

業務内容：全国の自治体、教育委員会へ外国語指導助手を配置
企業研修、英会話スクール運営

■関連会社■

株式会社ハートコーポレイション首都圏

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-8-1-903

業務内容：首都圏を中心とした教育委員会への外国語指導助手を配置

電話：03-5645-2254 FAX：03-5645-2264



Heart English School

株式会社 ハートコーポレイション

Heart News letter

外国文化を生かした英語活動 ～HALLOWEENを楽しもう～



Heartは、公立の学校で児童・生徒が異文化体験を充実出来るように、日本にはない世界のイベントなどを授業の一環として積極的に取り入れています。今月はHalloweenをデコレーションし、初めて聞くHalloweenの歴史や、世界で行われている習慣を学ぶ授業を提案しています。

1人1人の児童・生徒が体験できるように、子どもたちの目線に立って活動を行っています。

写真の学校では、紙でカボチャのお化けを作り、トリック・オア・トリート（Trick or treat）を校内で行うなどの活動をし、高い評価を頂きました。



当社のALTすべてが、児童・生徒達に、興味を湧かせられる活動が出来るように、日々、トレーニングや情報の提供・共有を行っています。

ALTの存在価値は、「楽しい！」「知りたい！」「学びたい！」と児童・生徒に感じさせられる指導者である事です。当社はそのようなALTの育成、派遣を行っています。



Heart English School

